

フロリダ大学留学体験記 9・10月

留学生活が始まって約2か月が経ちました。アメリカでの一人暮らしも8月よりもスムーズに送れるようになってきました。今回のレポートでは私が取っている授業について紹介します。

INR2001-International Relations-

この授業では国際関係について時事問題や社会問題を通して講義を受け、ディスカッションをします。週3回授業があり、そのうち1回は与えられたトピックについて小クラスに分かれて議論します。私は社会の教科は苦手でしたが、小テストに備えて勉強することで今までよりも国際的な社会問題について興味が湧いてきたり、ディスカッションのクラスで意見を交わす場があることにより理解が深まったり、前よりも時事問題に関心を持てるようになってきました。

ANT2301-Human Sexuality-

この授業では性について深く学ぶことが出来ます。授業の前に読んでいくべきテキストの量が多く、毎週読み終えるのにとっても時間がかかります。専門用語や医学的な知識も含まれるので理解するのも大変ですが、週末を使って頑張

っています。予習が多い分、知識として頭に入れた状態で講義を聞くことが出来るので、授業をよりスムーズに理解できます。writing の課題も多いですが私にとっては興味深い授業です。この授業は性教育として、とても大事なことを学ばせてくれているように思います。

DAA1000-Fundament Dance Tech

この授業はダンスの授業です。実技のパフォーマンステストや、オンラインでの知識テストが 2 回ずつあります。先生が親しみやすく、面白い人なので毎回楽しく授業を受けています。コンテンポラリーダンスやバレエ、jazz ダンスの基本を習います。パフォーマンステストはみんなの前で 3.4 人ずつ課題のダンスを踊りますが、声を出して盛り上げてくれたりするので緊張しすぎることなくできます。授業を通してストレッチの仕方や、ウォーミングアップの仕方も身に付けることができます。

AFA2390 & SYA4930-Race and Sports in America-

この授業は私が取っている授業の中で 1 番ピリついている授業で、毎回とても緊張しながら授業を受けています。主に黒人差別についてスポーツを通して学んでいます。日本にいた時は考えもしなかった黒人と白人という人種の交わ

り方や、今も残っている黒人差別に対する課題を考えるきっかけになるので新しい分野を勉強している気持ちになります。多くの人種が交わるアメリカだからこそより深い講義を受けることが出来ると思います。クラスの中には黒人も白人もいるので、いろんな考え方や意見が飛び交います。私にとって少しハードルの高い授業ですが、内容はとても濃いものになっていると思います。

以上の4つを秋のセミスターで受けているところです。このセミスターも残り約1か月となり折り返し地点を超しましたが、大変なことも楽しみながらやっています。



9月のはじめにアメリカンフットボールの試合を見に行きました。キャンパス内にあるスタジアムに初めて入りましたが大きくて迫力に驚きました。試合は学生の試合とは思えないくらい大規模で、観客の数の多さにも驚きました。チアリーダーが踊っていたり、楽器を拭きながら応援している

集団がいたり、点が決まれば花火が上がったりします。試合の日はお祭りのような雰囲気が大学周辺に漂っていて、オレンジか青の T シャツを着た人がたくさん

んいます。

週末は近くのカフェで勉強したり、家の周りを歩いてみたりして活動範囲を
広げています！！

